

ゆう ゆう 友-友通信

平成16年10月発行

第83号

なんで地域通貨「いっぼ」が出来たの？

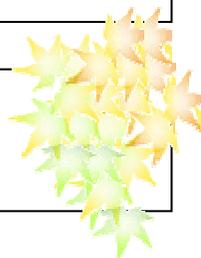
世の中不景気、年金はカット、給料も削減、リストラも激しい。消費税アップや増税、世の中真っ暗。しかし嘆いていても始まらない。これからは、よくも悪くも全て行政頼みでは立ち行かない時代。残るは市民の力、ささやかな力、されど一歩ずつ社会を明るく変えていく仕組みになれば・・・との思いで始まる地域通貨「いっぼ」は、吹田の千里からあゆみ出しました。

困り事はひとそれぞれ、それらを汲み取る多様なサービスを「いっぼ」で！
犬（ペット）の世話や病院への付き添い等本当にささやかなことから、介護保険の枠外のサービスを地域通貨「いっぼ」で支え合いましょう。

頼む方も頼みやすく、活動もしやすくなるのでは・・・との思いから。
（個人では信頼関係がない！ボランティア中の事故はどうなる？地域通貨「いっぼ」としてボランティア保険に加入し、人と人をつなぎます。）

時間や体力を割かなくても、日常生活の中で自分の得意なことを役立てる道があるかも、とりあえず「いっぼ」事務局へご相談ください。

さりげないボランティア
いっぼ通貨は、自分が他人にとって価値ある存在だと、気付かせてくれるかも。
あなたの 1歩をお待ちしています。



いっぼ通貨が、あなたの思いを生かす手段になれるといいのですが！！
ご相談お問い合わせは（6877-1664）へ。宜しくお願いします。

YOUYOU YOUYOU YOUYOU YOUYOU YOUYOU YOUYOU YOUYOU

特定非営利活動法人友，友 代表理事：小林房子

〒565-0826 吹田市千里万博公園12番1号 パークサイドビル1F

TEL 06-6877-1664 FAX 06-6877-2004

メールアドレス youyou @ jt6.so-net.ne.jp

ホームページアドレス <http://www012.upp.so-net.ne.jp/youyou/>

ありがた迷惑ですか？お義母さん・・・

お義母さんは週に4回友友デイサービスにお世話になっています。

でも、実は送り出す朝はいつもちょっと気が重いのです。

朝、目覚めた時、気分も体調もすっきりしないらしく「今日は行くのは止めて寝とく」とか、「しんどいから横になる」などと、拒否をする事がよくあるからです。出掛けてしまうと、お友達もいるようで、結構楽しんで帰ってくるのですが、いざ出掛ける時になると、おっくうになってしまうようです。

もともと、買い物以外、ほとんど出掛ける習慣が無かったし、その買い物もデイにお世話になる少し前から、だんだん自分でしなくなっていました。

3～4年くらい、デイに通いはじめる少し前は、痴呆が出始めて、うまく歩けなくなり、家事が少しずつ出来なくなりました。そのことをうまく理解が出来ない義父から責められる事も多かったのでしょうか、かなり落ち込んで、窓も開けない部屋の暗がりにはぽつんとうずくまっているのをみかけたこともありました。何に対しても意欲が無くなり、食欲も無くなって、痩せ細っていききました。

なんとか、外との交流を持って気分を変えてもらいたいとの思いで友友さんをお願いすることにしました。家庭的な雰囲気、ゲームや散歩などあまり参加する事に積極的でない義母に対し、無理強いすることもなく、うまく誘いだしていただき、少しずつ参加できるものが増えてきたようです。

確かに、以前よりずっと元気になりました。食欲も戻り、顔色もよくなりました。もしあのままお義母さんの希望通り家でゆっくりしていたら、今頃はベットから起き上がることも出来なくなっていたかもしれません。(今も、デイのない日は一日の大半をベットで過しています)

だから、何としても出掛けてもらいたいのですが、説得したり、ごまかしたり、考える暇を与えなかったり、なんとか工夫して上手く送り出す方法を考え中です。

お義母さんにとってはありがた迷惑かもしれないけれど・・・



体験の感想のお便りを頂きました。

配食3回目、友友さんの最終日です。今回2回目の弁当配達で、同じコースを行ったので気がついたのですが、大きくて立派な家に一人で住んでおられる方が多いです。団地の一室でも一人なら広いのに、高級住宅地で二階建ての新築に、一人で住まわれてるのを見るのは寂しいです。そうゆう方の一人が、来春に老人ホームの入所を考えていると言っておられました。老人ホームの実態は知らないのですが、一人で住むよりいいのでしょうか。その方は高齢ですが、特にどこも不自由な感じは見受けられませんでした。もっと地域との親密さが深まれば、施設に入る必要も無くなるかもしれません。ただ、どんなに健康でも、年をとれば出来ない事が出て来るもので、高齢者の一人暮らしがいいものとは思えません。高齢者の孤独死が増えているのも事実です。家族と一緒に住めないのであれば、友友さんの配食やデイサービスのように、連絡が無い時に、心配してくれる団体にお世話になることは、大切だと思います。* (次ページ下段につづく)

楽しかった友 友まつり

デイサービスご利用の皆さんに楽しんでもらおうと、日ごろ食事サービスを担当しているボランティアの人達が企画して下さいました。

前日から、提灯をつったり、踊りの稽古。そして当日はおでん、焼きそば、たこ焼き、蕨もち、ラムネ、かき氷おかし釣り、スーパーボールすくい等、全て準備して下さいました。

参加者はデイサービスの利用者はもちろん、お嫁さん、娘さん、息子さん、お孫さん、元職員も含めて70名程でした。

職員はいつもの3倍ぐらいの送迎で、てんやわんや。室内は久々の元職員らとのお話しが弾んでいました。狭いデイルームはいつのまにかボランティア、高齢者、職員達のハッピーと浴衣で踊りの輪ができていました。「楽しい」「うれしい」の言葉をたくさん頂いて、スタッフは早くも、来年はもっとご家族の方々に参加していただきたいと張り切っていました。

参加者の声

本日は大変お世話になりました。美味しいお料理や楽しい盆踊り、数々のイベント本当に素敵なお時間でした。義母のしっかりした足取りで踊る盆踊り、少し感動致しました。利用者の皆様の明るい笑顔にこちらまで嬉しくなりました。そして、スタッフの皆様本当に有難うございました。おかげさまで心のアルバムに又一つ、とっておきの思い出が出来ました。とても感謝しています。皆様くれぐれもお疲れの出ませんように。今後共、宜しくお願いいたします。

(ご利用者高木様のお嫁さま：真知子様)



* 今まで私は、ボランティアというと「一部の人がやってる特別な事」だと思ってました。しかし実際行ってみると、スタッフの方は、資格をもっている人がいるとはいえ、ほとんどが主婦で、まるで家事の様に仕事をこなしていました。デイサービスの方では有資格者の介護がありますが、野菜を切ることも、掃除をすることも、人と話す事も、どれも日常で行っていることの延長でした。世間が皆、ボランティアへの特別感を捨て、当たり前のことと思えばもっと多くの人に広げていく事が出来ます。自分のことばかりに必死になっている生活は結構侘しいものです。

やるべき事をやらずに、他人の事をやるのはどうかと思いますが、連帯感の希薄になった今日の日本では、「人のために尽くす」事がどれだけ自分にとっても大切かを実感します。

ボランティアをやっている方は、人付き合いも上手で、いつも笑いが絶えません。いつかその人自信が助けを必要とする時には、多くの人に助けられることと思います。一方的に奉仕しているように見えて、結局は自分のためになっるのがボランティアなのだと思います。

今回友 友さんで働かせてもらって、たった5回ですが本当に勉強になりました。やったからこそ言える事なのですが、経験しなかったら後悔したと思います。意外と身近な所にこんな施設があるということを知ることが出来て嬉しく思います。

山城 明子